

ロシア軍のウクライナ侵攻に強く抗議し、恒久平和を求める決議

世界中が新型コロナウイルス感染症への対応に追われている最中、ロシア軍は、2月24日早朝（現地時間）、国際社会の度重なる警告を無視し、ウクライナへの全面的な侵攻を開始した。さらにその後、民間人を含め多数の犠牲者を出し続けている。これは、明らかに国連憲章第2条第4項に違反し、世界の安全保障と国際秩序を脅かす侵略であり、断じて容認できない暴挙である。

また、3月2日（現地時間）に開催された国連総会緊急特別会合においても、ロシアによるウクライナ侵攻を非難する決議が賛成多数（加盟国193か国のうち141か国が賛成）により採択された。

よって、本市議会は、ロシア軍による攻撃とウクライナの主権侵害に強く抗議するとともに、ロシア政府に対し、武力行使の即時停止とウクライナ領土から直ちに全ての軍隊を完全に撤退させることを強く求めるものである。

以上、決議する。

令和4年3月8日

福岡県那珂川市議会